

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第2学年

⑤学習グループ（総合ビジネス類型）

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	論理国語			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) 論理的に書いたり、批判的に読んだりするための基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) あるテーマについて、論理的に自分の考えを表現する。 (3) 自主的に自分の考えを表現しようとする姿勢を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	所 竜之介				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	大修館書店『新編 論理国語』				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	論理を学んでできること ・知の登山、知の水路	6	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。		・比喩などの文章表現に着目して筆者の考えを読み取る。 ・対比構造など図示したり、グラフなどの資料を参照したりすることで、視覚的に筆者の主張を捉える。 ・主張、本論、結論の構成を意識して文章読解、論述に取り組めるようにする。 ・ワークシートを用いて、スモールステップで学習を進める。 ・タブレット端末を活用して資料を提示する。
5	具体と抽象 ・突然変異と進化の関係 ・ウサギの耳はなぜ長い？	6	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。		
6	対比をとらえる ・米の種類と食文化 ・デジタル地図から見える世界	14	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。		
7					
9	主張をつかむ ・文化としての科学 ・人工の自然	6	・主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。		
10	論理的に書く ・根拠をふまえて主張を書こう ・構成を考えて書こう ・反論を想定して書こう ・文章を磨きあげよう	15	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。 ・基本的な小論文の型を理解する。 ・反論を想定し、説得力のある小論文を書く。 ・推敲の観点を知り、文章を改善する。		
11					
12	統計資料を活用する ・量の時代から質の時代へ ・若者の「海外旅行離れ」は本当か？	6	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。 ・データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。		
1	比べて読む ・「言葉の揺れ」を認めるか ・紙の本はなくなるらない	6	・情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。 ・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。		
2	レポートを書く ・テーマを決め、問いを立てよう ・情報を収集しよう ・情報を整理しよう ・レポートをまとめよう	11	・具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。 ・適切な調査方法を選び、レポートに必要な情報を集める。 ・集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。 ・読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。		
3					
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		地理総合			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 世界が抱える歴史的な課題や問題に対して知識を深める。 (2) グローバル化した現代の抱える問題に対して、自分なりの考察ができる。 (3) 考察した内容を、ICT機器を駆使して、自分なりにまとめて発信することができる。				
担当教職員 *学校介護職員		石田 有香				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		高校生の地理総合（帝国）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	地球上の生活 GISと地図	6	気候の違いや時差、多様な生活や文化について考察する。			・生成AIを使い、考察したことを深められるようにしていく。 ・教職員にアンケートを実施し、自分の考察を深められるようにする。 ・新聞から、関連する情報を見つけ、考察できるようにする。
5	グローバル化 大地形と生活	6	ネット・リテラシーやデジタルデバインド（情報格差）について考察する。			
6	小地形と生活 気候の成因と生活	7	河川がつくる地形が暮らしにどのように影響してきたか考察する。			
7	各気候の生活 言語・宗教と生活	6	民族と言語の関わり、民族の共存をめぐる課題について考察する。			
9	歴史と生活 生産する産業と生活	6	ラテンアメリカとアフリカの歴史的背景について確認し、それが現在にどのような影響を与えているのか考察する。			
10	現代の産業と生活 地球的課題と地球環境問題	7	メリカ合衆国がリードする情報通信産業の可能性と危険性について考察する。			
11	エネルギー問題 人口問題	6	持続可能な社会を実現するエネルギーの得方や使い方について考察する。			
12	食糧問題 都市問題	6	日本の食料自給率と世界の食料問題について考察する。			
1	日本と自然災害	8	日本の自然災害の歴史とその対策について考察する。			
2	自然災害と防災	7	防災には、どのような物資、考え方が必要なのかを考察する。			
3	持続可能な地域づくり	5	なぜ、持続可能な社会を実現する必要があるのか考察する。			
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		歴史総合			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付ける。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えることができる。 (3) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、課題を追求することができる。				
担当教職員 *学校介護職員		橋口 琢未				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	結びつく世界	5	○アジア諸地域の繁栄と日本、ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出			・情報機器を活用し、データをまとめたり、比較したりする。 ・時代や国ごとに情報をまとめ、比較検討できるようにする。 ・資料から正しい情報を読み取れるようにする。 ・考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。
5	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の形成	5	○ヨーロッパ経済の動向と産業革命、アメリカ独立革命とフランス革命、南アジア・東南アジアの植民地化、中国の開港と日本の開国			
6	明治維新と日本の立憲体制	5	○明治維新と諸改革、明治初期の対外関係、自由民権運動と立憲体制			
7	帝国主義の展開とアジア	5	○条約改正と日清戦争、日本の産業革命と教育の普及、帝国主義と列強の展開、世界分割と列強の対立、日露戦争とその影響			
9	第一次世界大戦と大衆社会	8	○第一次世界大戦とロシア革命、国際平和と安全保障、アジア・アフリカ地域の民族運動、社会・労働運動の進展と大衆の政治参加			
10	経済危機と第二次世界大戦	7	○世界恐慌の発生と各国の対応、ファシズムの台頭、日本の恐慌と満州事変、日中戦争と国内外の動き、第二次世界大戦と太平洋戦争			
11	戦後の国際秩序と日本の改革	7	○新たな国際秩序と冷戦の始まり、アジア諸地域の独立、占領下の日本と民主化、占領政策の転換と日本の独立			
12	冷戦と世界経済	7	○集団防衛体制と核開発、米ソ両大国の平和共存、西ヨーロッパの経済復興、第三世界の連携と試練、55年体制の成立、日本の高度経済成長、核戦争の恐怖から軍縮へ、冷戦構造のゆらぎ、世界経済の転換、アジア諸地域の経済発展と市場開放			
1		7				
2	グローバル化する世界	7	○冷戦の終結と国際情勢、ソ連の崩壊と経済のグローバル化、開発途上国の民主化と独裁政権の動揺、国際社会の中の日本			
3	現代の課題	7	○人口減少化、アジアとの関係、1年間のまとめ			
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学Ⅱ			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 (2) 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 (3) 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。				
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	第1章 式と証明 式と計算	5	3次式の計算と展開		・既習事項を振り返り、生徒の理解度を確認しながら学習を進める。 ・具体的な事象や身近な題材を取り扱うことで、イメージしやすくする。 ・定理や公式の暗記に陥らず、成り立ちやその活用に重点を置く。 ・視覚的に気付きやすくするとともに、ノートテイクなどの負担を軽減し、思考の時間を十分に取る。
5		7	2項定理		
6		7	多項式の割り算		
7	第2章 複素数と方程式 複素数と2次方程式の解	6	等式の証明		
9		7	不等式の証明		
10		7	補充問題		
11	第4章 複素数と	7	複素数とその計算		
12		7	2次方程式とその解		
1		5	解と係数の関係		
2	軌跡と領域	7	2つの円 軌跡と方程式		
3		5	補充問題		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		生物基礎			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。 (2) 観察、実験などを通して、生物学的に探究する能力と態度を育てる。 (3) 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		栂沢 法男				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		高等学校 生物基礎（新興出版社啓林館）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	生物の特徴	16	○オリエンテーション ○生物の特徴 ○生物の共通性 ○生体とATP ○呼吸 ○生物の多様性 ○細胞の特徴 ○酵素の働き ○光合成			・新しい知見を視覚的にも理解しやすくするため、オンデマンド動画を活用する。 ・動画視聴後には出題をして、理解度を高める。 ・中学校で学習した内容を振り返る時間を設けることで、生物た生物現象への関心を高め、学習に意欲的に取り組めるようにする。 ・学期末に定期考査を実施することで、知識の定着を図る。 ・観察・実験の活動を可能な限り入れ、観察・実験を行うために必要な技能を高め、科学的に探究するための基礎的な資質・能力を身に付ける。
5						
6	遺伝子とその働き	16	○生物と遺伝子 ○DNAの複製と分配 ○タンパク質と遺伝情報 ○遺伝子と私たち ○DNAの構造 ○タンパク質 ○細胞の分化と遺伝子			
7						
9	神経系と内分泌系による調節	8	○体内環境 ○内分泌系による情報伝達 ○人体図鑑 ○神経系による情報伝達 ○血統濃度の調節			
10	免疫	6	○免疫のしくみ ○免疫とさまざまな疾患 ○免疫の応用 ○体内環境と私たち			
11	植生と遷移	8	○身のまわりの植生 ○さまざまな植物の環境への適応 ○遷移とバイオーム ○植生の遷移			
12						
1	生態系とその保全	16	○生態系における生物の多様性 ○生態系における生物間の関係 ○生態系と人為的攪乱 ○生態系の保全 ○生態系と私たち			
2						
3						
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		化学基礎			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術についての理解を深める。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の現象に主体的に関わり科学的に探究しようとする態度を養う。				
担当教職員 * 学校介護職員		加藤 宏大				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		新編 化学基礎 (数研出版)				
月	単元 (題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	物質の構成	7	混合物と純物質、物質の三態と熱運動			・映像や模型などを使い、化学変化のイメージをもちやすくする。 ・実験や観察を多く取り入れることで、興味・関心を高め、体験をしながら学習に取り組めるようにする。 ・日常生活と化学のつながりについて、扱うようにし、学習意欲を高める。
5	物質の構成粒子	8	原子とその構造、イオン、元素の周期表			
6	粒子の結合	12	イオン結合とイオンからなる物質 分子と共有結合、共有結合の結晶 金属結合と金属			
7						
9	物質の変化	15	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量			
10						
11	酸と塩基の反応	14	酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応と塩 中和滴定			
12						
1	酸化還元反応	10	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用			
2						
3	化学が拓く未来	4	物質の特徴や化学変化と暮らしを支える技術とのつながり			
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		保健体育（保健）			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 健康や安全に対しての理解を広げ、深める。 (2) 生涯を通じて自らの健康を適切に考えたり判断したりすることができる。 (3) 自ら健康に関する課題を発見し主体的に解決を図ろうとすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員		梅沢蓉子 米川慧				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		新高等保健体育（大修館書店）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	思春期と健康	3	思春期における心の変化と健康課題、身体の変化と性機能の成熟についての学習			・グラフや資料を用いる。 ・それぞれの考えを尊重する雰囲気を作る。 ・資料を用いながら学習を進めていく。 ・調べ学習を交えながら進めていく。 ・自身の将来の生活を考えたり身近な問題として捉えられるよう生徒の生活に即した具体例を用いて説明する。 ・インターネットや新聞などを活用して学習を進める。 ・自身の生活を振り返りながら学習を進める。 ・考えをまとめ発表する場面を設定しながら進めていく。
5	性意識の変化と性行動の選択	3	性意識の変化と異性の尊重や性行動の選択についての学習			
6	結婚生活と健康 妊娠・出産と健康	3	夫婦関係や親子関係と健康について、受精・妊娠・出産や母子の健康についての学習			
7	家族計画	3	家族計画の意義や避妊方法の選択と人工妊娠中絶についての学習			
9	加齢と健康 高齢化社会に対応した取り組み	3	加齢による心身の変化や高齢者を取り巻く状況についての学習			
10	働くことと健康 労働災害の防止 働く人の健康づくり	4	働くことの意義と働き方の変化、日本における労働災害の推移についての学習			
11	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染 環境衛生	4	大気汚染による健康への影響、環境汚染の防止とその対策についての学習			
12	食品の安全 健康制度の活用	3	食品の安全と課題について、医療制度の役割と適切な活用の学習			
1	医薬品の制度と活用	3	医薬品の使い方についての学習			
2	様々な健康活動や対策	3	地球規模の健康課題を解決する取り組みや組織の活動についての学習			
3	誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	3	多様な人や組織が参加して進める環境づくりやまとめ			
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	保健体育（体育）			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 個々の実態に応じた課題やルール設定を行うとともに、話し合いの場面を設定する。 (3) 目的に向けた主体的な過程を称賛し、身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める				
担当教職員 *学校介護職員	梅沢蓉子 米川慧				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	体づくり運動	6	柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。		・様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。 ・体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 ・自身の記録の変化が分かるようにする。 ・泳法の学習では、それぞれの泳法の特徴を学習し理解してから実技を行うようにする。 安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。 ・仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。 ・チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
5	陸上競技 体育祭種目練習	12	陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。		
6					
7	水泳	10	泳法の学習やリラクゼーションを行う。		
9					
10	球技「ボッチャ」	8	投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。		
11	ダンス	8	テーマをに合わせた楽曲を選択し、振り付けを覚え、発表する。		
12	球技「テニス」・「卓球」	12	打撃練習や試合を通して、ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を学習する。		
1					
2	球技「ハンドサッカー」	14	ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。		
3					
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		音楽Ⅰ			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 (2) 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 (3) 音楽文化についての興味・関心、理解を深め、卒業後の余暇活動へつなげる。				
担当教職員 *学校介護職員		高橋 尚子				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		MOUSAI（教芸）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	和音の基本機能とコードネーム	3	・コードネームの使い方 ・和音の基本機能			・強弱記号や速度記号などの楽典を理解し、楽器を演奏する。 ・合奏を通して、奏法を工夫し表現する。 ・世界の歌曲に親しみながら、曲の情景や雰囲気を感じながら歌う。 ・歌詞の意味を理解し、表現方法を考える。
5		4				
6	リズムとアンサンブル	3	・リズムに関するスコアリーディング ・リズムアンサンブルの表現方法			
7		3				
9	舞台芸術	4	・作品の内容や時代背景、登場人物の心情理解 ・旋律やリズム、曲想に応じた表現方法			
10		3				
11	5音音階による単旋律創作	3	・5音音階や2部、3部形式の基礎知識 ・創作表現			
12		4				
1	日本音楽の特徴	2	・和太鼓、箏の演奏			
2		3				
3		3				
通年	歌唱	35	日本歌曲、世界の歌曲			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		美術			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しさを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員		佐藤 やよい				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		美術 1（光村図書）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	平面制作	5	ポスター、絵画の鑑賞 アイデアスケッチ 絵の具、パステル、色鉛筆などを使ったモダンアート制作 ポスター制作			・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。 ・タブレット端末を用いて技法や作品などの調べ学習をする時間を設ける。 ・制作時間を調整し、試行錯誤しながら発想を広げられるようにする。
5						
6	立体造形	5	彫刻の特徴と作品の鑑賞 アイデアスケッチ 粘土などを使った彫刻制作			
7						
9	工芸	10	工芸作品の鑑賞 アイデアスケッチ 革や木などを使った工芸制作			
10						
11						
12	デザイン	9	デザインについて考える アイデアスケッチ タブレット端末を使ったデザイン制作			
1						
2	自由制作	6	自己表現について考える アイデアスケッチ 制作			
3						
通年	鑑賞		映像作品、参考作品の鑑賞			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		英語コミュニケーションⅡ			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 日常的・社会的な話題について、英語で理解したり表現したりすることができる。 (2) 進学に向けて演習等を繰り返し行い表現を身に付けるとともに、自主的に表現することができる。 (3) 映像資料やプリント教材を利用することで、生徒に合った方法で弱点を補強し、四技能を伸ばしてゆく。				
担当教職員 *学校介護職員		伊藤 雄太				
年間授業時数		140 単位時間				
使用教科書		All Abroad! English Communication Ⅱ (東京書籍)				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	Pre-Lesson L.1 A Colorful Island	10	基本的な英文法復習/関係代名詞 what			・できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。 ・習熟度によっては、学習範囲を戻したり、復習したりして自信につなげる。 ・音声教材を活用し、単語1つ1つの発音だけでなく、アクセントや抑揚、単語と単語のつながりなどについても意識させる。 ・大学進学を意識して入試問題を取り入れる。
5	L.1 A Colorful Island L.2 With the Beatles	14	関係代名詞 what/比較表現			
6	L.2 With the Beatles L.3 Wild Men	15	比較表現/itの用法			
7	L.3 Wild Men L.4 Little Hero	10	itの用法/間接疑問文			
9	L.4 Little Hero L.5 Special Make-up in Kabuki	14	間接疑問文/to不定詞を含む表現			
10	L.5 Special Make-up in Kabuki Reading Lesson Mujina	14	to不定詞を含む表現/既習の学習事項を使い、物語を読む			
11	L.6 Seeds for Future Generations L.7 Over the wall	14	動詞の目的語になるif節/関係副詞			
12	L.7 Over the wall L.8 Inspiration from Nature	12	関係副詞/知覚動詞			
1	L.9 The Bitter Truth behind Chocolate L.10 Fighting Angel	10	使役動詞/分詞構文			
2	L.10 Fighting Angel	12	分詞構文			
3	これまでの復習	10	1, 2年で学習した学習した内容、文法事項について復習する			
通年	ALTとの英会話	5	ニュースや季節についての話題			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		家庭基礎			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1)生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識の理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から課題設定を行い、研究成果を表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		石渡 ひかり				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	第1章 自分らしい人生 ・青年期の課題 ・目標を持って生きる ・人生をつくる	5	自立度チェックシートを用いて、今現在の自立度と、課題を知る。			・チェックシートを用いることで、結果や課題を視覚的に理解しやすくする。 ・PCや動画教材を活用し、視覚的、体験的学習を取り入れる。 ・見本の提示に実物を用いることで、イメージしやすくする。
5	・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	7	家庭・家族の法律クイズを解いて、家庭・家族の法律の知識を深める。			
6	第5章 食生活をつくる ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・調理実習、調理実験	7	食事バランスガイドの目安と自分の一日の食事とを比較して、問題点を見付け、改善として栄養バランスの良い食事を調理する。			
7	第3章 高齢社会を生きる ・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴	7	高齢社会に関わる本を読み、気付きをワークシートでまとめる。			
9	第4章 共生社会をつくる ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方	7	一人暮らしをする際にかかる費用を、Excelを使って計算する。			
10	第6章 衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を管理する ・被服又は布小物制作	7	自分らしい着装について考え、自分の必要な被服を自らデザインして制作する。			
11	第8章 経済生活を営む ・現代の消費社会 ・消費者の権利と責任	7	ライフサイクルゲームで、消費者の権利と責任について学ぶ。			
12	第2章 子どもと共に育つ ・子どもの育つ力を知る ・子どもの触れ合いから学ぶ	7	絵本の対象年齢とねらいを考えて読み聞かせをする。			
1	第7章 住生活をつくる ・住生活について考える	7	物件検索サイトを用いて、地域の物件の情報を知る。			
2	まとめ ・調理実習、調理実験 ・布地を使用した制作 ・課題研究	9	自分の生活で必要なものを、企画・デザインして制作する。			
3						
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		コンピュータ実技A（総合ビジネス類型）			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 情報Ⅰの学習内容を踏まえ、コンピュータを実社会で活用するための基礎的な力を付ける。 (2) 実習、演習を通して、ICTの活用能力の拡充を図る。 (3) 生成AⅠ研究校として、生徒が生成AⅠを主体的に問題解決に活用できるようにする。				
担当教職員 *学校介護職員		高澤 昇太郎				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	ワープロソフトの活用	5	○文書作成 ◆ワープロソフトの基礎的操作から応用的な操作まで身に付ける。			・個々の障害の状況に合わせてコンピュータの設定や環境設定を行う。 ・実習、演習を中心に学習を展開し、操作の知識、技能を高められるようにする。 ・必要に応じて副教材の活用や操作手順書を作成する。
5	プレゼンテーションソフトの活用	7	○プレゼン作成 ◆各機能を効果的に活用し、プレゼン資料作成ができる。			
6	プレゼンテーションソフトの活用	8	○プレゼン作成 ◆発表する相手を考慮して、プレゼン資料作成ができる。			
7	プレゼンテーションソフトの活用	6	○プレゼン実施 ◆分かりやすいプレゼン発表を行うことができたか。			
9	表計算ソフトの活用	8	○表計算ソフトの活用、文書作成 ◆各機能、関数を効果的に活用し、文書作成ができる。			
10	様々なソフト、情報機器の活用	8	○プロジェクションマッピング、3Dプリンタ、3Dスキャナ等を活用して、様々なソフト、情報機器の活用を行う ◆それぞれの機能を活用して作品の作成ができる。			
11	様々なソフト、情報機器の活用	8	○プロジェクションマッピング、3Dプリンタ、4Dスキャナ等を活用して、様々なソフト、情報機器の活用を行う ◆それぞれの機能を活用して作品の作成ができる。			
12	様々なソフト、情報機器の活用	4	○プロジェクションマッピング、3Dプリンタ、5Dスキャナ等を活用して、様々なソフト、情報機器の活用を行う ◆それぞれの機能を活用して作品の作成ができる。			
1	生成AⅠの活用	5	○画像生成AⅠの活用、都立学校生成AⅠ環境を活用して課題解決やポスター作製などに取り組む ◆生成AⅠを活用することで問題解決ができるか。			
2	生成AⅠの活用	7	○画像生成AⅠの活用、都立学校生成AⅠ環境を活用して課題解決やポスター作製などに取り組む ◆生成AⅠを活用することで問題解決ができるか。			
3	生成AⅠの活用	4	○画像生成AⅠの活用、都立学校生成AⅠ環境を活用して課題解決やポスター作製などに取り組む ◆生成AⅠを活用することで問題解決ができるか。			
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		産業社会と人間			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 共生社会を構築する人材としての、社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 (2) 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。 (3) 将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた計画を作成する。				
担当教職員 *学校介護職員		高橋 奈穂美				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	社会生活の基礎	3	時事問題について考えを述べ合ったり、生活するうえで必要な基礎学力を身に付ける。			・新聞やインターネットの記事を読み、何が問題になっているかを常にアップデートしたり、自分の考えを発表したりする。 ・日常生活で身に付けておいた方が有利となる基礎学力（数字の感覚・漢字や熟語など）を適宜学習する。 ・適宜憲法がどのように私たちの生活に関わっているかを考察しながら進める。
5	より良い社会を実現するために	9	SDGsの課題を見据え、誰も取り残されない社会の実現について考える。			
6						
7						
9	自分の進路を決定する	14	過去・現在・未来の自分を考えることで、「わたし」についての考察をする。 働き方や生き方を知り、自分の社会参加について考える。			
10						
11						
12						
1	主権者教育 消費者教育	9	選挙権獲得と選挙権行使について考える。 新聞記事やインターネット情報をもとに、消費者を取り巻く諸課題について考える。			
2						
3						
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		特別活動			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員		石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘、高橋奈穂美、長嶺亜矢子、所竜之介、梅沢蓉子 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。			・意図的にチームを組み、生徒同士のやりとりが活発に行われるようにする。 ・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・係ごとに事前学習や調べ学習を行い、活動への意識を高める。 ・幅広い実態の生徒の中で、力を発揮できるようにする。生徒自身が学年の活動の準備や計画に携われる場面を設定する ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。			
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。			
7	修学旅行事前・事後学習	10	○係ごとに事前・事後学習を行う。 ○内容に関する話し合い、準備、練習など。 ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。			
9						
10						
11	墨東祭に向けて	3	○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。			
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。			
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。			
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。			
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。			
通年		35				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		総合的な探究の時間			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員		石田有香、加藤宏大、樫沢法男、佐藤やよい、和田菜摘、高橋奈穂美、長嶺亜矢子、所竜之介、梅沢蓉子 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	新しい学年 新入生歓迎会	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆年間の予定を知り、学年目標や係活動を決める。			・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・幅広い実態の生徒の中で、力を発揮できるようにする。生徒自身が学年の活動の準備や計画に携われる場面を設定する ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。			
6						
7	学期のまとめ	2	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。			
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習 修学旅行事前事後学習	11	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所（地域）について考える。 ◆修学旅行に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○修学旅行の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。 ◆教員や友達と協力して活動する。			
10						
11						
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て1学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。			
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。			
2	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。			
3	進路について	3	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。			
通年		35				

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1)それぞれの生徒が持つ課題に応じ、身体機能や体力、手指の巧緻性などの向上をねらう。 (2)身体の緊張を抜き、リラックスして活動に取り組める状態を体得する。 (3)生徒が障害の状態や発達段階に応じて自己の力を可能な限り発揮し、主体的に生活や学習環境の改善ができるようにする。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文 高橋 奈穂美 渡邊 沙綾 齋藤 篤彦 佐伯 かおり				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	自立活動	70	セルフストレッチ・筋力トレーニング 筋緊張の緩和や疲労回復、並びに関節の可動域の維持・拡大を図るとともに、主体的に自らの身体の状態を判断し、セルフメンテナンスを行おうとする姿勢を育む。 座位、膝立ち、立位の取り組み 主に静的バランス力の向上を図る。 バランスボールやトランポリンを使った活動 体幹の強化並びにバランス力の向上を図る。 歩行訓練、階段昇降 主に動的バランス力の向上、並びに下肢筋力の維持・強化を図る。 手指の操作性を高める活動 手指を用いた作業に対する作業性の向上を図る。 車いすの操作技術の向上、並びに安全に運行するための知識の取得 社会生活における行動範囲の拡大を目指す。 球技を中心としたレクリエーション 生徒自身でルールを決め、それに従ってゲームを行い、集団でのコミュニケーション力や企画力を高める。 スポーツテスト 握力・ボールの遠投・4分間走（ウォーク）などから可能な活動を定期的に計測し、身体能力の向上を確認する。		・生徒自身が主体的に身体に取り組むために、体調などを確認する中で、生徒と教員間で取り組むべきメニューを相談して決定していく。 ・車いすの取り組みでは、校内並びに学校周辺の歩道などを活用することで、様々な環境下での走行を体験する。